



蔵王を一望
Asahi自然観 スキー場

広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

2

1995
FEB.
月号
NO.459

女／性／広／報／委／員／い／と／ば／た／会／議

女性が生き生き 輝ける町に

女性が生き生き輝いている町は、活気があふれているという。これからのまちづくりに、女性ならではの優しさの視点はなくてはならないものです。

そこで今月は、女性が楽しく生き生きと暮らすにはどうすれば良いかについて、女性広報委員七人による井戸端会議を開き、大いに語り合っていました。



松田 栄子 さん

出席者

〈女性広報委員〉



水沼 和子 さん



長岡 輝美 さん



西澤 敬子 さん



小関 典子 さん



佐竹 文子 さん



藤沢 美子 さん



ゴミ問題などに積極的に取り組む婦人会・若妻会のみなさん

なぜ町外に？

水沼 広報紙の中の『さわやか新婚さん』にたくさんのカップルを紹介したいんだけど、最近さがすが大変になってきたのが、悩みのひとつね。

西沢 昨年結婚した人の3割強が町外に出ているって話よ。そのことも原因のひとつかもしれない。でも、どういう理由で行っているのかなー。

松田 結婚してすぐに出て行く場合は、親も納得していることが多いね。例えば、子どもがでるまでは二人ぐらしをしたいとか、若いうちはお互いを干渉しないなど、プライバシーを守るためとかが理由みたい。珍しい例では、内向的なお嫁さんに積極的になつてもらおうと、別居させる親からの配慮もあったり。

長岡 勤務先が町外だったりすると通勤に便利という理由や、跡取り同士なので、どちらの家にも入らずに、中立的立場にいるために別居することもあるそうよ。

水沼 それから消防団へ入団したくないという人もいる。自分の家や地域を守るために「入ら

んなね」という意義は認めるけど、朝練習がいやでという理由らしい。

西沢 女性の場合は若妻会に入りにくいという人もいるね。地域にしばらくののがいやだったことかしら。若妻会の発足当時は、若妻会へ行くことが、社会参加の第一歩だったわけだけれどー。

藤沢 団体行動がいやだったところもあるんじゃないかな。気の合うもの同士、好きな所へ出かけたほうが気がらくで楽しいものの。

松田 そうね。それから、いつも見られているという感じがすると、周囲のうわさ話だけが先行するから、窮屈でという理由もあるみたい。

佐竹 でも、そういう組織があると、地域のことがわかっていというところもあるね。

長岡 転入してきた人たちは、友だちも増えるし、地域に早くなじめるように入りたいと思う人が多いらしいよ。勤めがある人となない人ではまた違うみたい。勤めている人は、会社の人とのつながりがあるけれど、家にだけいる人は、地域のつながりしかないから大切なんじゃないかな。

松田 参加する人の意識によつ

て、楽しくなるか窮屈になるかも違うみたい。それに受け入れる側も、いろいろな考え方、意見があることを認めてあげて、反映して行かなくてはいいけないと思う。

水沼 それには若いうちに、一旦町外に出て外を見てくることもいいことかもしれない。県外で自活してみたら、もつと町の良さがわかるんじゃない。

子育てを

温かく見つめて

長岡 最近では、自分の子どもは、自分で育てた方がいいという考え方が多くなってきたと思う。でも、お嫁さんが子育てをすることを、家の人たちの間では納得していても、「じいちゃん、ばあちゃんを働かせて、あそこの嫁は遊んでいる」とか、「昔は畑に連れて行って仕事をしたもんだ」などと、周りの人のほうが騒がしいところがあるんじゃないかな。

西沢 みんなが言うわけじゃないけど、よく聞く話ね。中にはひがみもあると思うけど、どうしても話題が少ないせいか、お茶飲み話になりやすい。

水沼 うわさするのが楽しみになっている人もいるっていうけど、

そういうのつてさみしいね。それぞの年代に応じた楽しみ方があると思う。それには若いときから自分の楽しみを育てていくことがとても大切ね。

小関 子育てをしていても、子どもと一緒に楽しめることとか、子育てしているときから自分の楽しみを見つけておくべきだと思う。それから、お嫁さんが子供をつれて公園で遊んでいるのを、温かくみつめてくれる雰囲気、気についていいね。私が子育て中は、そんなに立派な公園でなくてもいいから、ちよつとした広場が近くにあったらいいなと思ってた。

松田 私もそう感じる。例えば、役場の前の駐車場が公園だったらいいなと思ってるんだけど。乳児検診の時に、そこで遊ばせてくれるし、同じ年齢の子どもをもっているお母さんたちと、会話をする機会も増えていいし、子どもが小さいころは、子育ての戸惑いが結構あると思うのよ。

藤沢 そうだね。朝日町ではこんなふうに遊ばせることができるんだな。って、これからの人が見ても安心するかもしれないね。外で遊ぶ子どもの姿が減っているから、明るくなってい

もつと積極的 生き生きと

佐竹 若い人が子育てしながら楽しみをもつためにも、一時的に気楽に預けられるような、託児所があればいいと思う。ちよつと買い物に行くにも助かるんじゃないかな。

松田 子どもを頼める人がいなかったり、親やお姑さんに気兼ねして、外に出ていかれない人もいると思うから、あつたらいいね。「そんなにまで出かけるののか」と言われるかもしれないけれど、出て行けば、何かしら得るものがあるだろうし、気分転換をして子どもに接することは、子どもにプラスになるんじゃないかな。

小関 団地のある都会などでは、同じような思いをもっている人が、グループやネットワークをつくって、他の子どもを預かったりしてうまくやっている例もある。やはり必要なことがあれば、行動や実践に移すことが大切だと思う。

西沢 そうね。それにはひとりひとりが、公の場でも自分の考えをきちんと言うことも大切ね。周りの人は、いろいろな考え方や意見があることを認めてあげ

て、受け入れて反映して行かなければならないと思う。

長岡 意見と言え、一般的に決定権を持つのは世帯主だよ。例えば合併処理浄化槽のことも、使い方の説明を受けるのも世帯主だったりするけど、実際に使う人が説明を受けなければいいのに。

水沼 公民館の場合でも、できてみれば案外女性にとって使いにくかったり。他のことでも女性や若い人の意見をとりあげてもらう場が、なかなかないのよね。ぜひ、そういう場を設定してほしい。

藤沢 そういうことから、女

性も外にでて勉強することって必要じゃない。一度外に出てみると、ものの見方が違ってくるかもしれない。

松田 そういえば福島県の飯館村では「若妻の翼」で毎年十人を海外に研修させている、というのを聞いたんだけど。それも、子育てのまっ最中に、子どもを夫や親たちに預けて行くんだって。

長岡 海外旅行もいいね。パスポートを手にする人が、一年に十人、十年だと百人になるよね。そうなれば町は絶対変わると思う。行ってきた人は生き生きと輝いてくるし、町に何か返さな



ぼくたちも料理に挑戦／朝日町ではいろんなことが体験できる

ければという思いが強くなると思う。

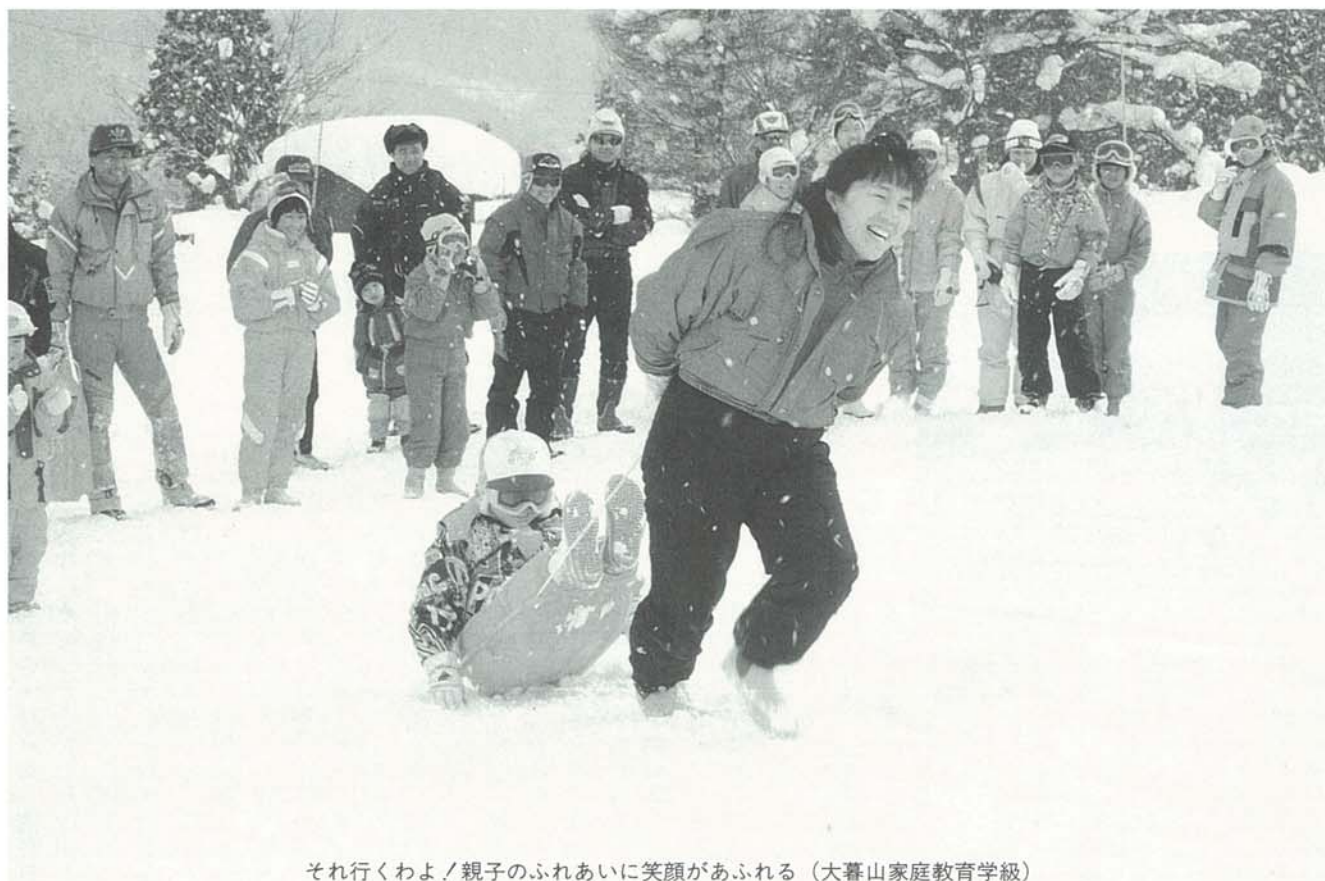
小関 飯館村では、お姑さんたちがお嫁さんたちに刺激されて、「キムチの旅」を計画して韓国に行つて来たとか。いろいろな面で良い影響が出てきているみたい。

自然が豊かで

遊びの塾がいっぱい

長岡 家の子がふたば保育園に通っているときは、山に連れて行つて、山菜のウドとかフキを採ってきたのよ。子どもたちの目の前で選別して、子どもたちがフキの皮むきをする。それが全部、次の日の給食にてんぷらなどになって出てきたんだって。秋にはイナゴを採つてきて食べさせてくれたり、冬には凍み大根作りをしたり。余った大豆で豆腐を作ったりする。朝日町では、旬の教育がたくさんできるのよね。

水沼 すばらしい体験だね。言わば自然のすばらしい塾。朝日町は、狭い庭なんていうより、自然の中で花や野菜を自分たちで育てたり、採つて来たり、手で触れることができるのね。そういうことによって、育てているものがいとおしく思え、命あ



それ行くわよ／親子のふれあいに笑顔があふれる（大暮山家庭教育学級）

るものを大切にして行くんじゃないかな。

佐竹 そうだね。実は私、子どもたちがこんなにいろいろなことを、体験させてもらっていたなんて知らなかったな。せっかく保育園で体験したことを、保育園だけで終わらせないで、家庭でも経験させたいね。

松田 ほんと。体で体験したことは一生もの。それには町のことや町の良さを知り、語れる人にならなくてはね。そこではじめて、子どもたちや自分のパートナーに、教えることができるようになると思うんだけど。そういうお父さんや旦那様ってすてき。

藤沢 自然だけでなく、地域に帰れば、みんなが温かく声をかけてくれるし、地域の子は地域の子として親身になって育ててくれるものね。私も地域の人に育ててもらって、本当にありがたいなって思っているんです。うわさ話はいやだけど、直接、良いこと悪いことを教えてくれる、まわりの温かい目はとってもいいですね。

小関 保育園に限らず、学校教育も地域の教育も、朝日町は子どもを育てるのに、とても良いところだって自信が持てますね。

女性が輝けば

町は楽しい

佐竹 出生率が低下して、朝日町の結婚適齢者のほとんどが跡取りじゃないかな。家を継ぐことだけを考えていたら、結婚で

きなくなってしまう。こういうカップルは、どうやって障害を乗り越えて幸せになっているのかしら。

松田 跡取り同士の結婚では、こんなことがあったのよ。家の了解はあっても、親戚など周りの人が許さなかったんだって。そのとき男性が「家のことを思ってくれるのはうれしいけど、俺たちの幸せを考えてほしい」と反発をしたらいい。当時は自分の言ったことを反省したけど、「結果的には良かったと思う」と聞いたことがある。

藤沢 ひとり娘にとって「婿取りだものね」という何げない一言がづらいこともある。子どもだもの、親のことはだれよりも心配しているつもりだから、みんなが心配してくれるのはわかるけど、優しく見守っていてほしいな。

小関 まわりの人の理解って大事ね。でも「障害があっても乗り越えるぞ」という意志の強さ

が本人たちにはいいね。先のことを心配しすぎて臆病になるより、一歩踏み出す勇気が大切。とてもエネルギーがいることだけどがんばってほしい。

佐竹 ひとり娘の場合、今一番ほしいのは、介護つきの集合住宅かもしれないね。跡取り同士の場合、どこに住むことになっても、同じような境遇の人が近くにいて、介護がついていれば、安心して結婚することができもの。それから、ヨーロッパでは普通なんだけど、個人のプライバシーを守る、個室の介護つきアパートもいいと思うな。

西沢 朝日町の良いところ悪いところをふまえて、こういった夢がかなえば、ここで暮らしたくなるような魅力的な朝日町になると思う。そうすれば、お嫁に來たくなる人が増えるんじゃないかな。

水沼 女性がきらきら輝いて楽しく暮らして行けば、きつと生き生きとした町になると思う。そうすれば「何か楽しそうにやっているぞ」って、他の町の若い人も自然に集まってくる。

そのためには、自分の意見や希望を話せるような場を、私たち広報委員会でもぜひ企画して「広報あさひまち」に紹介して行きたいですね。

長寿を祝い賀詞の贈呈



100歳を迎えられた阿部興三郎さん(立木)

上寿（100歳以上） 3人

白寿（99歳） 3人

米寿（88歳） 42人

年の初めの一月六日、清野町長はじめ町の三役が米寿者四十二人、白寿者三人、百歳以上三人の自宅を訪問し、賀詞と記念品を贈り長寿を祝いました。

今年めでたく百歳を迎えられた阿部興三郎さん（立木）は、「家のまわりを散歩するのが、何よりの楽しみです。いまでも風邪など病氣一つしません」と若者顔負けの健在ぶり。長寿の秘訣は「何でも食べて、こせこせせず自由に伸び伸びと暮らすこと」と語ってくれました。阿部さん宅では、さっそく赤飯を炊いて長寿を祝っていました。

今年の上寿者、白寿者、米寿者は次の方々です。これから大丈夫で長生きしてくださいことをお祈りします。

●上寿者

白田忠太郎（国治・大暮山）／鈴木いつ（光吉・助ノ巻）／阿部興三郎（文雄・立木）

●白寿者

鈴木はつよ（春雄・前田沢）／佐藤きく（秀夫・平）／志藤きく（庄三郎・川通）

●米寿者

鈴木正（本人・本町）／長岡藤一郎（忠典・本町）／松田タケ（強志・西町）／鈴木

スヘノ（武男・西町）／富樫まさ（幸男・助ノ巻）／鈴木よしる（イク子・元町）／鈴木静（勇夫・元町）／阿部きん（啓一・西原）／熊谷長助（長一・新宿）／石塚彦次郎（勝彦・四ノ沢）／佐藤うめ（安正・小原）／相座幸一（幸太郎・宿）／菅井ゆき江（信太郎・大隅）／大滝佐助（本人・下芦沢）／星野いさを（重郎・宇津野）／大井重太郎（本人・常盤）／松本トモ（則雄・常盤）／海野せい（佐兵エ・能中）／鈴木哲男（文蔵・能中）／小川エツ（新太郎・一）／長岡はる（武見・太郎一）／長岡平治（智・太郎一）／大高幸作（祐一・太郎一）／長岡ちう（千代美・太郎二）／長岡一郎（本人・太郎二）／阿部みつる（勝弘・太郎三）／阿部まつ（與助・立木）／鈴木まつ（栄・松程）／鈴木左一郎（秀治・松程）／佐竹キヌエ（芳松・松程）／阿部梅代（芳雄・大谷三）／白田まし（光市・大谷三）／東清二郎（昇・大谷四）／白田ふてよ（忠夫・大谷五）／川村オナヲ（重・大谷五）／堀みのゑ（文太郎・大谷七）／堀なかゑ（一雄・栗木沢）／鶴見キミエ（博俊・栗木沢）／志藤とく（昭三・栗木沢）／志藤六郎（勝利・川通）／鈴木たま（康雄・大暮山）／小林民治郎（孝一・大沼）

（順不同・敬称略）



清野町長らがくわ入れを行った起工式

転作配分面積137ヘクタール 昨年より20ヘクタール増加

転作に関する実行組合長・区長会議が二月九日、農業団地センターで行われました。

平成七年度の朝日町への転作配分面積は、昨年より二十ヘクタール多い百三十七ヘクタールとなっています。

会議では、転作の配分方法などについて説明され、担い手農家への水田の集積と農家所得の増大を図るため、今年も地域営農推進基金制度を活用し、効果的な生産調整を推進することを確認しました。

松程トンネル建設中

全長387m 平成8年供用開始

主要地方道長井大江線の松程トンネル工事の起工式が、一月三十日現地で行われました。

関係者約百人が出席。清野町長や有路寒河江建設事務所長ら

が玉串を捧げ、工事期間中の安全を祈願しました。

現道路の松程・大船木区間は、狭小曲折で車がすれ違うにも大変危険であり、交通の難所になっていることから、早期の道路改良が望まれていたものです。

今回工事が行われるのは、常盤方面から来るとの松程丁字路付近より、トンネルをつくり延長する全長八百六十メートルの新設道路で、そのうちトンネルは三八七メートル。歩道を含めた幅員十メートルの快速道路となります。

飛島・升川建設共同企業体が請負し、供用開始は平成八年の予定です。

多くの町民から

あたたかい善意

兵庫県南部地震災害被災地への義援金募集に、多くの町民の方から続々と善意が寄せられました。

一月三十一日までに、日本赤十字社朝日町分区分や町社会福祉協議会(共同募金会)に、義援金

や米・りんごなどの物資をお寄せいただいた個人・団体は次の通りです。その他にも区長会で取り組まれた募金(募金者名を記



義援金を手渡す送橋小児童会の代表

入しないで、朝日町民一同として日本赤十字社に贈る)に協力いただいた方や匿名の方など、老若男女を問わず多くの方々から、あたたかい善意が寄せられました。

また、被災地へ直接、米やりんごを送ってくださった方もありました。どうもありがとうございます。(敬称略)

▽海野正美(送橋)▽鈴木直子(大町)▽今野優(本町)▽松尾絵美(松原)▽松尾奈緒(同)▽松尾慎太郎(同)▽布施嘉隆(助ノ巻)▽布施マサ子(同)▽鈴木謙蔵(同)▽渡辺久喜(西町)▽若月利喜雄(夏草)▽菅井数衛(大隅)▽今井正仁(新宿)▽清野秀俊(本町)▽北村淑子(夏草)▽朝日町役場課長会▽朝日町議会議員一同▽阿部組▽阿部土建▽斉藤ひとみ(長沼)▽伊藤なつ(西町)▽朝日町▽阿部恵寿(夏草)▽松本則雄(常盤)▽鈴木昭雄(西船渡)▽渡辺藤夫(大町)▽多田積(同)▽志藤留吉(栗木沢)▽志藤まさ子(同)▽阿部武勝(西原)▽布施正(助ノ巻)▽佐直雄二(本

町)▽佐藤平吉(宿)▽アサヒニクニ職員一同▽斉藤喜美(新宿)▽伊藤博美(大町)▽安藤かよ(松原)▽橋本藤雄(夏草)▽佐竹長雄(同)▽笹原潔(助ノ巻)▽笹原宣康(同)▽笹原とよ(同)▽今井道男(新宿)▽長岡和美(本町)▽朝日町役場四役会▽松田藤志雄(栄町)▽布施辰之助(本町)▽学校調理師会▽学校用務員会▽阿部善重(八ッ沼)▽鈴木登(同)▽浅岡安吉(字津野)▽阿部信行(元町)▽上郷小学校職員一同▽上郷小学校PTA会▽伊藤正子(松原)▽大井建設▽納屋幸一

(同)▽池田加代(大谷五)▽大谷道子(大谷六)▽近藤春雄(四ノ沢)▽斉藤文子(杉山)▽鈴木五郎(松程)▽鈴木勇(本町)▽朝日町教育委員会▽大久保作次郎(西町)▽村山千代雄(助ノ巻)▽鈴木吉夫(同)▽鈴木一男(同)▽布施孫助(同)▽富樫春雄(同)▽布施計衛(同)▽鈴木隆見(同)▽布施友衛(同)▽柴田精司(同)▽菅原功(同)▽阿部藤夫(同)▽鈴木剛雄(同)▽鈴木富雄(同)▽阿部うめ(同)▽小林一男(同)▽鈴木むめ(同)▽柴田喜久雄(同)▽鈴木岩吉(同)▽鈴木光吉(同)▽

兵庫県南部地震災害義援金

1月31日現在

(夏草)▽多田一子(本町)▽近衛和子(大隅)▽菅井信太郎(同)▽菅井幸太(沼向)▽成原明(新宿)▽鈴木優太(小原)▽阿部孝右エ門(常盤)▽熊谷正一(小原)▽長岡重幸(常盤)▽高橋拓也(同)▽阿部隆夫(同)▽白田和好(大谷一)▽武田睦郎(真中)▽五十嵐義行(中沢)▽遠藤恵美(栗木沢)▽北部区長会▽白田安蔵(大谷二)▽鈴木紀(大谷四)▽遠藤悟郎(真中)▽阿部春雄(同)▽渡辺菊雄(大谷三)▽白田登喜夫(同)▽鈴木正和(同)▽白田千代喜(同)▽白田三郎(同)▽白田朋行

大場祐一(同)▽鈴木善次郎(同)▽長岡正博(太郎二)▽水本小学校児童・教職員一同▽井上幸恵(西船渡)▽井上綾恵(同)▽鈴木信一(助ノ巻)▽布施正一(同)▽白田謙一(同)▽花山芳一(同)▽伊藤政義(同)▽鈴木直太(同)▽阿部力夫(同)▽鈴木俊一(同)▽布施政吉(同)▽布施信夫(同)▽布施栄悦(同)▽布施亀太郎(同)▽布施幸亥(同)▽井沢利紀雄(同)▽海野武雄(同)▽布施おその(同)▽布施政身(同)▽富樫莞爾(同)▽布施敏(同)▽阿部岩太郎(同)▽鈴木恭二(同)▽鈴木清

一(同)▽鈴木貞蔵(同)▽富樫幸男(同)▽鈴木又四郎(同)▽海野長太郎(同)▽佐藤昭三(同)▽渡辺三郎(大谷五)▽白田芳美(大谷三)▽サンライズ社員一同▽渡辺吉五郎(大谷二)▽堀敬太郎(大谷一)▽白田太郎(大谷六)▽尾形俊昭(八ッ沼)▽渡辺為之助(本町)▽清野正直(栄町)▽地球耕望互助会▽布施清子(新宿)▽成原浩(同)▽東北コーオン朝日工場▽朝日町消防団第二分団第六部団員一同▽上郷小学校児童会▽佐竹法面工業▽今井康夫(新宿)▽送橋小学校児童・教職員一同▽西五百川小学校児童会・PTA・教職員一同▽朝日町農民連合会▽佐藤祐司(小原)▽安藤和夫(松原)▽岡崎正志(下芦沢)▽海野つる(西船渡)▽松尾明子(松原)▽鈴木正(本町)▽クリーニングさとう▽安藤良吉(松原)▽山賀詠子(新宿)▽佐藤全一(大滝)▽佐藤良枝(小原)▽朝日町連合青年団▽櫛寿太(大谷一)▽阿部タケ(夏草)▽朝日町傷痍軍人会・妻の会▽長岡ふき(西町)▽太郎亭▽朝日中生徒会・教職員一同▽白田八十二(大谷一)▽鈴木昇吉(常盤)▽藤原光雄(本町)▽堀重雄(元町)▽渡辺まさ子(大谷二)▽朝日町土地改良区職員一同▽朝日町社会福祉協議会職員一同



木の香りいっぱいの新校舎

大沼分校完成

大沼分校の新校舎が完成し、一月九日入校式が行われました。清野町長が「新しい学び舎でしっかりと勉強してください」とあいさつしたのに対し、児童代表が「待ち望んでいた校舎ができて感謝しています。九人の力を合わせて、楽しい学校に行きたい」とお礼のことばを述べました。児童たちは仮校舎の大沼湖畔の家と別れを告げ、木の香りいっぱいの三角屋根の新校舎で、元気に勉強に励んでいます。



校歌をうたって入校を喜びあう児童



児童代表でお礼のことばを述べる6年の小林透佳さん



1階の教室は畳敷きにもなり、地域の研修会や集会等にも利用できる



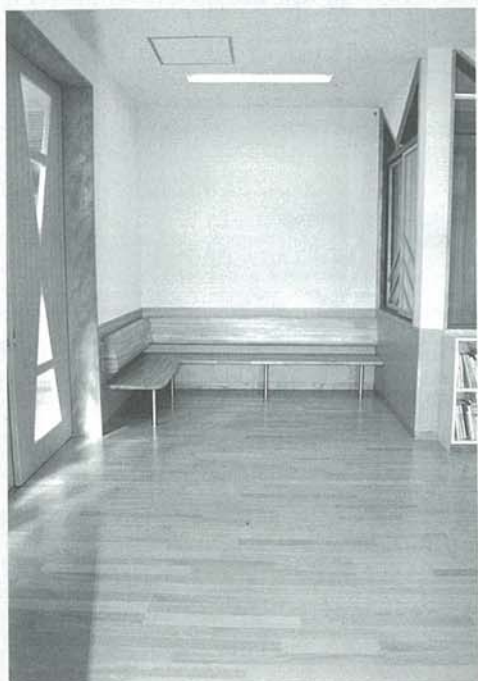
階段途中の踊り場が体育館の入口になっている



新校舎での授業がスタート、新しい学習机は木の香りがいっぱい



三角屋根がシンボルの新校舎、室内はとても明るい



廊下兼用で児童集会や遊びなどにも利用できる多目的ホール



清野町長らがテープカットを行い新校舎入校を祝う



入校式にちょっぴり緊張ぎみの児童たち



バスケットコートもとれる広い体育館

■連絡先
役場企画情報課
企画広報係へ
☎67-2111 (内222)



阿部正樹君 (大船木分校)

全国入選

全日本年賀状版画コンクール



郵政省主催の第44回全日本年賀状版画コンクールで、大船木分校二年の阿部正樹君(今平)が見事全国入選に輝きました。正樹君の作品は、今年の干支の猪を力強く描いたもので、東北大会では約一万六千点の応募作品の中から、最高賞の東北郵政局長賞を受賞。「一番うまくいった所は牙です」と語る正樹君は、受賞の知らせに大喜びでした。

その他にも長岡大輔君(立木小)や岡崎新君(水本小)、鈴木友香理さん(和合小)が全国で佳作に選ばれ、東北大会では、町内の小学生が数多く入選されました。

【東北大会成績】

▼東北郵政局長賞

阿部 正樹(大船木分校二年)

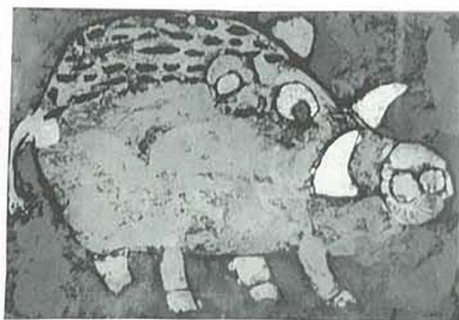
▼入選 岡崎 新(水本小二年)

渡辺真千子(和合小六年)

阿部奈津美(立木小四年)

伊藤 俊介(水本小五年)

高橋 恵里(水本小二年)



松田 恭典(立木小六年)

鈴木友香理(和合小二年)

▼佳作 大井隆太(立木小二年)

大井登美子(立木小二年)

佐藤 亜妃(大船木分校三年)

石黒 祐太(大船木分校一年)

長岡 大輔(立木小四年)

長岡 恵季(立木小四年)

大谷 真伍(大谷小四年)

堀 美貴子(大谷小四年)

鈴木 貴晃(和合小二年)

伊藤 和弘(水本小四年)

▼学校賞

水本小学校 大船木分校



足腰の強い農業経営を

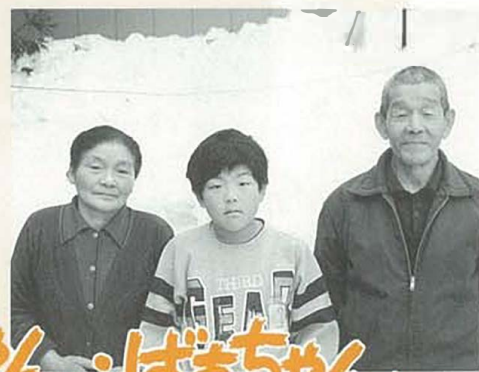
農業簿記講習会開く

簿記をできる力(技術)を身につけ、経営に役立てようと一月五日、農業簿記講習会が開催されました。農業委員会が主催し、今回で七回目の開催。講師に浜田秀男氏を迎え十六人が受講しました。参加者の中には夫婦で受講した方もおり、「将来はパソコンによる管理をめざしたい」と、夢を膨らませていました。融資などを有利に受けられる認定農家になるには、複式簿記の記帳が必要になります。

大暮山/
阿部 篤志くん
(大暮山分校4年)

じいちゃん
満雄さん(76歳)

ばあちゃん
キヌエさん(73歳)



ぼくのじいちゃん・ばあちゃん

ぼくのじいちゃん、夏は畑の仕事をしています。冬は家の前の雪かたづけをしてくれます。夕方、まきでおふろをたいてくれます。ぼくのばあちゃんは、家にいろいろな仕事をしてくれます。ご飯の準備をしてくれる時もあります。毎日家の中をきれいにそうじしてくれます。

ぼくは、じいちゃんもばあちゃんも、いつまでもじょうぶで長生きしてほしいです。

篤志



町民の

このひろばはみなさんのページです。話題やご意見、作品など、ご自由にお寄せ下さい。

ひとことトーク

白銀の思い出つくります

～Asahi自然観

スキースクール校長～



遠藤清実さん
(栗木沢)

今シーズンから校長に就任しましたが、「このスキー場は従業員が非常に親切だ」といわれると、自分のことのようにうれしくなります。おかげさまでスキースクールの受講者も順調に増えており、気を引き締めてインストラクターのレベルアップに力を注いでいます。

全くすべれなかった子供が、レッスン終了後ゲレンデをすいすいすべれるようになった姿を見た時、最もこの仕事に生きがいを感じる一瞬です。

このスクールの特徴としては、ゲレンデ整備を自分たちで行っていることで、状態を常に把握し、安全対策に万全の体制をとりレッスンを行っていることです。

親切、ていねいをモットーに、個性豊かなインストラクターが、皆様の入学をお待ちしております。



楯山上空から新宿集落を眺めると、時計の数字のように丸く並んだ家々が、肩を寄せあつて生活している。

この新宿むらから何人もの事業家や芸術家が輩出した。ここは新興拠点であったのだろう。

明治三十年八月二十八日、新宿の豪家、熊谷與三郎・せい夫婦の長男として生れた彼は、村会議員、西村山郡会議員であり歌人でもあった厳格な父のもとで、誠実さを学びとった。

東五百川村が宮宿町となった昭和三年に収入役となり、二十二年までの五期二十年間つとめる。同年六月に乞われて助役となり、翌二十三年十二月には晴

ふるさと
人国記
57

熊谷 高吉
たかよし

— 郷土の行政に尽力した人 —

れて宮宿町長となった。

この間、昭和九年の大凶作では、各地区の「郷倉」から穀物供出を達成し表彰される。

昭和十四年から宮宿・荒砥間の道路改良工事がはじまり、二十年には山交バスが宮宿まで開通している。

昭和二十三年には県立高松高校朝日分校が開設され、翌二十四年春には宮宿中学校新校舎が落成を迎えている。

町村合併後の、新法による町教育委員会発足(昭三二、一〇、二)では、彼は委員長に選出され、針生地区の白鷹町への分町合併にともなう、水本小学校の新築に力を注いだ。

要職を退いてからも和服姿のりんとした容姿は変わらず、町民の眼に今も焼きついている。

昭和五十二年二月二日午前十時、降りつく純白の雪に包まれて、彼は安らかな眠りの途に就いた。享年八十歳。

文・杉 ひさし



商売繁盛祈願

不況をふき払おうと町商工会主催による商売繁盛祈願祭が1月7日、中央公民館に商工業者約70人が出席し行われました。

出羽三山神社の山伏による「ほら貝」が鳴り響くなか、川嶋商工会長らが玉串を捧げ、今年一年の商売繁盛を祈りました。

続いて、ミスターローカルこと武田昌雄氏の「新春初笑い」と題したユーモアあふれる講演があり、参加者たちは爆笑しながら、健康学について学んでいました。



県特選受賞作品と琴絵さん(右)



清野琴絵さん(宮小)

県特選に

明るい選挙啓発ポスターコンクール

宮宿小学校二年の清野琴絵さん(四ノ沢)の作品が、明るい選挙啓発ポスターコンクールで、県特選を受賞しました。

作品は「大きくそだて みんなのびよう」と題し、朝日町らしく大きなりんごの木の下に、子供たちが手をつなぎ輪になっている所を、さわやかに描いています。一票の大切さを訴えています。受賞作品はカレンダーとして活用され、明るい選挙啓発に役立てられます。

親子で学んだ パソコン教室



朝日中学校に設置されているパソコンを使用し、親子で学んだパソコン教室が1月22日、小学生ら25人が参加して開催されました。親子で楽しみながらパソコンを学んでもらおうと、今年はじめて企画されたもの。

講師の福田淳一先生(朝日中学校教諭)から、画面に映し出された「はだかの王様」に、ぬり絵のように色ぬりをする操作の仕方や、パソコンで絵を描く方法などを楽しく学びました。

また、中学生がパソコンで描いた五百川橋や花火などの作品も紹介され、あまりの見事さに「きれいな!」「じょうずだ」と思わず感嘆。参加者たちは、「おもしろかった。またぜひ参加したい」と、すっかりパソコンを気に入った様子でした。

中沢／
鈴木正弘さん
清美さん



◆出逢いは?

2人ともウエルマート勤務で、3年前マルダイ寒河江店で同じ職場になりました。

◆お互いの魅力は?

【正弘】明るくて、仕事も一生懸命だし、料理がうまい所。

【清美】おぼっちゃまみたいな、可愛い笑顔かな。

◆何て呼んでいますか?

【正弘】「きよ」 【清美】「まちやびろくん」

◆どんな家庭を作りたいですか?

【正弘】子供がいっぱいで、とにかく明るい家庭。四月には二世が誕生します。

【清美】チャーミーグリーンのような、年をとってもいつまでも仲の良い夫婦でいたいなあ。

◆どうぞ、丈夫な赤ちゃんを産んで下さい。

(五十嵐義行広報委員)

ふるさと
めぐり
〈53〉



夏草から雪谷集落を望む

最上川と雪谷

カタクリの里

雪谷

春の訪れとともに可憐な花を咲かせるカタクリ。雪どけの清流が雪谷の里を潤すとき、この群落が辺りを彩りはじめます。この地に人が住み始めたのは、約四千年前のこと。雪谷遺跡には縄文後期と見られる器形の土器や石器が今でも多数出土されています。(朝日町の歴史)

むらには、薬師如来、如意輪観音などを祀った神社や祠が村人たちに守られ残されていますが、五百川観音32番札所である

雪谷観音は、安永九年(約二百年前)に鈴木忠右エ門(現別当忠内氏)により建てられたと棟札に記されています。

また最上川との絆も深く、漁をはじめ対岸の夏草などへの買い物や農作業は、三十年代頃まで舟で行き来し暮らしを支えてきました。「いま住んでいる十五戸はみな鈴木木の姓で、むらの行事や慶弔ごとはむらをあげて催す仲の良さが誇り」と語る、区長の鈴木喜美夫さん。

町水道の源として、町民のいのちを支えている雪谷の里にも、待ち遠しい春の足音が聞こえています。(長岡重利広報委員)

健診結果を生かそう

～高脂血改善教室～

最近「ミニドック」や「1日ドック」で、血液中の脂肪の量が多い高脂血症を指摘される方が増えています。放っておくと動脈硬化を起こし、狭心症や心筋梗塞の原因になる場合もあります。

町健康福祉課では高脂血症について、正しい知識をもち予防しようと1月27日、朝日町立病院の小林院長を講師に迎え「高脂血症ってなんだろう」と題し講演会を開催しました。

その中で小林院長は、高脂血症の原因を①肉を多くとる食事の欧風化②運動不足③たばこなどによると指摘したうえで、「特に食生活の改善や適度な運動が大切」と話されました。その後「コレステロール値を下げる料理」の実習が行われ、参加者たちは熱心にメモをとっていました。



大自然で思いっきり

スノーモービルに挑戦!!



おもしろ塾と北部青年教室らのメンバーが、大井沢でスノーモービルに挑戦しました。大自然の中で思いっきり楽しみ、「遊び心満点。とにかくおもしろい」と感想を語っていました。

町民税申告相談

実施中

確定申告は
3月15日まで



町では税務課職員が各集落に出向き、申告相談に応じています。相談日については、先の「お知らせ板」をご覧になり忘れないようご注意ください。所得税の確定申告の受付は、三月十五日までとなっています。税金についての問い合わせは役場税務課へ(☎67-211・内線264)



「勉強する」よりは 「手伝ってける」

今の小・中学生の親のほとんどが、戦後に生まれた『戦争を知らない子供たち』です。まだ物質的には恵まれない状況の中で、多くの家庭では家族全員で働く事が当り前の生活でした。子供には子供なりの仕事(役割)がありました。

子守り、田畑の手伝い、フロの準備・板の間拭きなどの家事の多くは子供の役でした。全て喜んでしていた訳ではなく、歯車の一つになっていたため、我

慢する事も多くありました。けれども、この中から知らないうちに多くの技を身につけ、助けあう事の大切さを覚えて行ったように思います。

今の子供達は、習い事、勉強、部活動等、なかなか忙しい毎日のようです。家の中にも、手伝う所が少なくなってきました。生活環境も親世代と違い、豊かなものになりました。子供にとって当り前のものにうつつているのかもしれませんが、一つの物を大切に工夫するのではなく、消費する社会の中で、何かを見失っているように思います。

「何の(だれの)ために勉強

すんだ」と、子供に突然聞かれた事はありませんか。

「良い学校さ、入るためだ」「いい仕事さ、就くため」「世の中の役にたてる人になるため」などと、人により様々な答えを話される事でしょう。私は、今年の正月に、ある言葉を思い出しました。「人として生まれて来たからは、真の人間に成るために学ぶ事」だと。

三つ子の魂 百まで

この諺を耳にしなかった人は少ないと思います。人間としての善し悪しの基本は、三歳頃までの間に、きっちり親が教えこまなければいけないと言う事でしょう。幼いから理解できないのではなく、その子の目の高さで親が悟す事は大切です。

子供は社会に守られ、家族に愛される権利を持っていると同様に、叱られる(教えられる)権利も持っているのです。毎日、毎日が大切な生きた勉強なのです。成長しつつある我が子たちを、時々幼かった頃にもどし、やりなおしたい想いかられる事があります。

子供は、大事に育まなければなりません、大事にしすぎて、

全国ベスト8

朝日中男子剣道部

全国中学校選抜若鷲旗剣道大会が、十二月二十八日兵庫県で開催され、朝日中男子剣道部が初のベスト8に輝きました。

大会では、二回戦にシード校の強豪玉東中(熊本)と対戦。

0対0と接戦のすえ代表戦で勝利をものにし、波にのって三回戦も勝ち進み、初のベスト8入りを果たして、敢闘賞を受賞したものです。

準々決勝では国土館中(東京)に敗れたものの、朝日中の健闘が光る大会でした。



朝日中剣道部のみなさん

娘・息子たちへ 親からの手紙

昨年は、いじめ、小学生の自殺など、子供たちの悲しい出来事が多く耳にしました。親にとっては残念でなりません。大切に育てて来た子供に、親の想いを伝えたいと思いました。

王子様や王女様にしていませんか。

「今日、学校でよー!」

「中学に入ると、さっぱり話さねくなる。何考えているんだか」と。この事は、多くの親が口にします。つい、この間まで、何やかやと話をしていた子供が中学に入る頃から、気づいてみると話をしなくなります。親よりも兄弟、友人など自分の周囲の人と話を多くするようになります。親とすればとまどいと同時に、これが成長している証と思います。節目の相談は子供からしますが、自分たちが中学生の時を振り返っても、様々な話は、友人たちとしていたように思います。今回のいじめ等も、当の親が心をくだいていても一番知らなかったという事からも見えて来ます。日々の生活の中に、子供の考えをみつめて行く事が大切になります。

いっぱいけんかしてる? けんかしてる?

「けんかしないで、兄弟仲よくしろ」。一日一回は必ずと言っ



子供たちは遊びの中から多くを学ぶ

て良い程、言ってしまう。母親などは、けんかをしていると、すぐにもトメに入りたくなりますが、子供にも理由があり、この中から身につけて行く大切な事が多くあるようです。けんかはお互いに後味の悪いもの、まして友人同士は特別でしょう。傷ついたり、口をきかなかったりと、仲なおりするま

では、子供なりに様々な思いを経験することになります。

おかげさまで...

「子供の事は子供にまかせろ」と、ある程度、子供の考えにまかすのも大切です。親は子の後ろで、おうように構えて様子を

（教育広報委員 小林秀子）

こんな事をだれでも口にすることがあります。一人で働いてだれの助けもかりず、何でもやれると思いがちですが、落ちついて考えると、ほとんどの事が多くの人の助け（力）によるものです。自分が生きて行くためには、多くの人に助けられている事に気づけば、今度は自分の力を、周囲の人のために役立てる事を考えて行けると思います。

「おかげさま」「お世話様」何げなく使っていることばの中に、この想いがこめられています。また、豊かな自然にも目を向けて下さい。車で通りすぎる事だけでなく、自らの足と目で自然の持つ豊かな教えを知って下さい。

長くなりましたが、最後に、親の想いを言わせてもらいます。自分自身を大切にすると同じように、周囲の人々をも大切に

31回

町民卓球まつり

一月二十九日、町民体育館で第三十一回町民卓球まつりが行われました。

■成績

- ▽団体戦／①宮宿西町②西船渡③送橋▽小学男子／①鈴木隆洋（西船渡）②若月哲也（同）③大類雅敬（同）阿部晃佳（八ッ沼）▽小学女子／①鈴木麻紀（西船渡）②鈴木浩子（同）③阿部恵実（夏草）高橋真由美（水本）▽中学男子／①阿部政和（立木）②渡辺隆仁（西原）③小林拓哉（栄町）峯田真人（西船渡）▽中学女子／①高橋由香理（水本）②豊嶋一絵（本町）③長岡美奈（太郎三）富樫夏美（太郎二）▽親子／①鈴木敬一・浩子（西船渡）②佐竹英子・真紀（常盤）▽一般／①鈴木藤七・鈴木藤吉（西町）②清野豊春・清野稔浩（四の沢）



130人が参加して行われた卓球まつり

こせきの
のまど平成6年12月1日～
平成7年1月31日届出

すこやかに

(出生届)

(12月1日～31日届出)

区名	出生児氏名	父名
八ッ沼	阿部 結希	忠之
大谷六	小野 銀治	康仁
大滝	柴田 梨奈	和正
松原	長岡 優平	利幸
栄町	松田 鉄平	勝美
栗木沢	安藤 真生	卓
松程	鈴木 奈奈	政広

(1月1日～31日届出)

宿	出生児氏名	父名
大隅	白田 己貴	潔一
大谷	菅井 藤みづき	和裕
能中	安藤 藤ふみ	竜二
松程	志鈴 遥太	靖裕
送橋	渡邊 智志	春樹



おしあわせに

(婚姻届)

(12月1日～31日届出)

鈴木 正弘	柴橋 清美
中沢 弘	寒河江市
国崎 宏	齊藤 まゆみ
西町 宏	常盤
長岡 悟	清野 令子
西町 悟	四ノ沢

(1月1日～31日届出)

鈴木 義巳	黄順 香
松程 昭義	韓国 幸子
堀舟 渡	寒河江市



やすらかに

(死亡届)

(12月1日～31日届出)

区名	死亡者氏名	世帯主
松原	安藤 ゆき	秀
送橋	渡邊 勝雄	健一
大谷六	川村 和子	藤太
松原	伊藤 まさの	正男
大谷三	鈴木 としゑ	孝義
松程	鈴木 イナ	正市
立木	阿部 ユキエ	正二



町指定有形文化財

水口十一面観音堂

一間の向拝の付く茅葺方三間堂で、様式的には禅宗様を主とし、和様を加味した建築である。海老虹梁、養股などの形状や彫刻装飾の類には、江戸中期の堅実な手法がみられる。建築年代も宝暦五年（一七五五）と明らかであり、素朴ながら当地方における江戸中期の代表的三間堂として貴重である。当時の一石橋組大庄屋であった佐竹長右衛門が中心となり再建されたもので、明治七年三月には水口学校として開校し使用された。茅葺きなどの維持管理は、現在も地区住民が毎年行っており、愛着心は今も変わっていない。昭和六十二年九月二十五日、朝日町有形文化財として指定された。

今平 阿部 七太郎 七太郎

(1月1日～31日届出)

西船渡	若月 てつゑ	明
前田沢	渡邊 さたの	一雄
四ノ沢	鈴木 ひて	寛治
夏草	阿部 秋男	恵寿
常盤	阿部 ゑく	利雄
新宿	佐藤 たみゑ	勝男
栄町	佐藤 てい	和典
本町	佐藤 峰男	みね子
夏草	阿部 源三郎	秀一
前田沢	柴田 智明	勇
元町	渡邊 政治	重利
松程	阿部 はるゑ	敏昭
大谷四	阿部 善藏	恒子
栄町	阿部 多良	武
大隅	菅井 さだの	清一
栗木沢	志藤 とく	昭三
宿	菅井 一雄	敏一
大船木	石黒 ちう	祐次

人口と世帯数

●平成6年12月31日現在

人口	10,106(増5)
男	5,029(増5)
女	5,077(0)
世帯数	2,517(減1)
	() 内前月比

人口と世帯数

●平成7年1月31日現在

人口	10,099(減7)
男	5,021(減8)
女	5,078(増1)
世帯数	2,519(増2)
	() 内前月比